

真の意味での英才教育を実践して38年 「学問に王道なし」という理念のもと、 新たなメソッドを開発中

代表取締役

清水 貫

誉田進学塾グループ／千葉県千葉市
(有限会社 ジヤスメック)

≡≡≡ 表層的に変化はあっても、
教育の本質は変わらない

日本社会を見わたすと、今教育が変わろうとしています。表層的に見れば短期的には様々な動きがあります。それらに流されたり、影響を受けて対応を迫られるなど、目の前のことばかりに対処しがちですが、でもそれは仕方のないことだと思います。

長期的に、非常に長いスパンで見た場合、教育が行こうとしている先が悪い方向に行くとは思えないので、最終的には本来教育が目指そうとしている方に向かうと考えています。それは何かというと、教育の本質的なものです。

ともすれば我々は、志望校合格とかテストの点を上げることなど、非常に表層的なことに目を奪われがちですが、本当は長い目で見て世の中が求めているのは、子どもたちが未来を切り拓いていく力を身につけ、伸ばしていくことです。

教育に関して様々な分野の様々な方が様々な意見を述べ、あっちに行ったりこっちに行ったりはすると思いますが、日本の今の状況からすると、結局は集合知性と言いましょつか、全国民の知恵の合計で見ると、私は良い方向に向かつていくと考えています。

誉田進学塾グループ

誉田進学塾
誉田進学塾 ism
誉田進学塾 sirius
誉田進学塾 premiu
／東進衛星予備校



2017年の学習塾業界 TOPはこう読む

ただ、私たち菅田進学塾に求められているものは何かという視点でみたとき、支持してくださっている生徒や保護者は狭いエリアの一部の方に限られていますから、あまりマクロな影響は受けないかと思っています。逆に言うと、その方たちについて理解され評価されるのが最も重要なことだと思っています。

私たちの塾を簡潔に説明すると、真の意味での英才教育を目指して本質的な学力を伸ばす指導を行っている塾です。その授業がミスマッチにならないかどうかをみるために入塾試験を行っています。中学生の場合はおよそ上位30%程度の学力を有する上位生を対象

今塾業界では人材の採用と育成が大きな課題となっています。しかし、少なくとも我々

としています。

社会の要請すべてに応えることはできませんが、学問の世界、あるいは勉強を通して身につけた能力を活かして将来活躍したいと考えている子どもたちをさらに伸ばすにはどうしたらいいか、そこに集中して今後も塾を運営していくつもりです。

当然のことながら、子どもたちには、一人ひとりそれぞれ得意なこと、好きなことがあります。もちろん勉強の分野で秀でた才能を発揮する生徒もいるわけですが、私たちはそのような生徒にこそ、その才能を磨く努力をしてほしいと考えています。

≡ 生徒の教育の前に、 まずは社員の教育

は教育を謳い文句にしている仕事に従事している以上、生徒の教育の前に社員の教育が必要なければならないと思います。

即戦力の人材に来てほしいとか、なかなかいい人が来てくれないという話をよく聞きますが、そんなに自分たちの都合のいい人ばかり欲しがる場所に好んで行く人がいるのでしょうか。少なくとも私は、この業界で一生懸命働きたい、教育の仕事が素晴らしいのでやっていきたいという強い気持ちのある人であれば、それで十分だと思っています。入社してから鍛え上げ、様々な能力を身につけていけばいいのです。

私たちの塾では単に問題の解き方を指導しているわけではありませんから、学生アルバイトにはいっさい授業を触らせていません。今来ていただいている小中部、高校部のチュー

ターの皆さんは、基本的にうちの卒業生なので、とても優秀です。でも彼らは教え方の訓練を受けているわけではありませんから、授業にはタッチしません。授業や担任業務はすべて社員が責任を持って行う仕組みにしています。学生アルバイトから大学卒業後、そのまま社員になる人も若干増えています。だからといってそれを勧めるようなことはいっさいしていません。もつと別の世界で活躍できる人が大勢いるからです。

うちの卒業生であろうとなかろうと、こ

≡ 新しい発見ができるようなメソッドを開発中

菅田進学塾の指導理念である「真の意味での英才教育」とは、「本格的な勉強」によって適切な負荷をかけ、本質的な「人間力」を磨くことです。学ぶ楽しさを真正面から伝え、真剣に良き道へと導く指導者のもと、お互い切磋琢磨しながら意欲を生み出し、困難に挑戦し達成する経験こそが教育の本質だと信じています。

今まで見たことのない世界を自分で切り開いていけるような人間になるためには、例えば初めて定理や公式を発見した人間の頭の使い方自体をトレースしなければなりません。なぜその定理や公式に行き着くことができたのか、それを体験させることでしか、未来を切り拓く力は育たないと思うのです。それをうまくプログラムできれば、新しい発見メソッドのようなものでトレーニングできるようになります。脳科学などの力も借りて、科学的に仮説を立てて検証し、改良を重ねていくつ

の業界で一生懸命働きたいという熱い思いを持っている人はもちろん大歓迎です。そしてその気持ちの強さにおいては他塾には負けなると自負しております。

最近になってやっと、社員の能力をある一定程度のレベルまで引き上げる仕組みができました。生徒が時間内に目いっぱい頭を使って考え、それを引き出す能力の育成です。そういった観点で見ると、まだまだ研究の余地がたくさんあり、教育というのは、ほとんど手がつけられていない分野なのかもしれません。

もります。

菅田進学塾は開塾38年になりますが、塾業界のトップランナーの方々が切り開いた道をとから歩んできました。その方々にはいつも本当に感謝しております。その感謝の気持ちを表した「日本民間教育大賞」はいつも楽しみにしていて、毎回行かせていただいております。今度の3月21日もとても楽しみにしております。毎回大賞に相応しい先生方が受賞されるのでとても感慨深いものがありますし、その際行われる記念講演は、明日の塾運営に大きな示唆を与えてくれます。

先駆者の方々のおかげで様々な知恵をいただき、こうして塾を運営しています。だからこそ、若い方々が夢と希望を持って飛び込んでいけるような塾業界にしていきたいと思っています。塾講師が子どもたちのなりた職業ナンバー1に選ばれるように、今後も日々邁進していく所存です。